

にほん うちゅうか がくけんきゅう ちゅうすう

日本の宇宙科学研究所の中核

ジャクサうちゅうかがくけんきゅうしょ

JAXA 宇宙科学研究所

なに

◆ここでは何をしているの？

ここでは、宇宙の構造やその起源をさぐるため
に大気の外に出て行う天文観測、地球を含む太陽
系の生い立ちをさぐる太陽系科学、宇宙空間でさ
まざまな実験を行う宇宙環境利用科学、新たな
宇宙への可能性を切り開く宇宙工学などの研究
をしています。

また、大学共同利用機関として、日本の宇宙
科学分野の研究・教育の中心としての役割をは
たしています。

得られた成果は日本国内だけでなく世界中に
発信しています。



うちゅう けんきゅう

◆なぜ宇宙を研究するの？

宇宙科学は我々に何をもたらすのでしょうか？
それは宇宙の謎を解明するだけではありません。
この地球をとりまく広大な宇宙を探るというこ
とは、実は宇宙に満ち溢れる謎に迫ると同時に我々
の住む地球のことを探ることにもつながります。

すなわち、地球環境問題の解決にも大きく貢献し
ますし、将来の新技術・産業の創出にも役立ちま
す。

人類社会の発展を担う次世代の人材を育てるこ
とや、国際社会への貢献にも関わってきます。

それらをふまえて、さまざまな研究活動、教育
活動を行っています。

なんにん

はたら

◆何人ぐらいが働いているの？

さがみはら さきん しょくいんすう めい
相模原キャンパスに在勤の職員数は420名（うち
きょういくしょくいん めい
教育職員が125名）です。ここでは宇宙科学研究所や
うちゅうきょういく
宇宙教育センター、契約、財務、施設部門の職員の他
だいがくへんきゅうしゃ だいがくいんせい がいこく けんきゅうしゃ
に大学研究者、大学院生、外国の研究者、メーカー
ひと はたら の人たちも働いています。

◆これまでの主な成果は？

せんごにほんはつ はっしゃじっけん れん
戦後日本初のロケット発射実験（1955年）にはじまり、
にほんはつ じんこうえいせい う あ せいかう
日本初の人工衛星「おおすみ」の打ち上げ成功（1970年）
のほか、ハレー彗星の共同観測（1986年）では、困難な
せいじじょうせい なか にちべいおうろ とうじ れん こくさいきょうどう
政治情勢の中で日米欧露（当時はソ連）による国際共同
せいこう みぢび
ミッションを成功に導きました。
さいきん エックスせんてんもんえいせい もち こう げんしょう
最近では、X線天文衛星を用いた高エネルギー現象
けんきゅう ききゅう せかいさいこうとうたつこう ときろく たっせい しょうわく
の研究、気球による世界最高到達高度記録の達成、小惑
せいたん さき せかいはつ つきいがい てんたい
星探査機「はやぶさ」による世界初の月以外の天体への
おうかん たいようかんそくえいせい たいようかつどう けんきゅう
往還、太陽観測衛星「ひので」による太陽活動の研究、
わくせいぶんこうかんそくえいせい もくせい かんぞく せかい
惑星分光観測衛星「ひさき」による木星の観測など、世界
せいか
をリードするような成果をあげています。

◆これから計画は？

エックスせんてんもんえいせい アストロエイチ
X線天文衛星 ASTRO-H、ジオスペース探査衛星
エルグ こくさいすいせいいたんさけいかくべビコロンボ
(ERG)、国際水星探査計画 BepiColombo があります。こ
れからも有意義なミッションを立ち上げていきます。

◆所長から一言



うちゅうかがく けんきゅうしょ しょちょう つねた さく
宇宙科学研究所へようこそ。所長の常田佐久です。
うちゅうかんそく わくせいいたんさ こくさいてき けんきゅうきよてん
ここは、宇宙観測と惑星探査の国際的な研究拠点です。はや
ぶさ2号機、X線天文衛星ASTRO-H、水星探査機などの
りつあん かいはつ ひょうじつけん うんよう いつかん
立案・開発・飛翔実験・運用を一貫して行っています。さらに、
つきちやくりく かせい えいせい
月着陸ミッションや火星の衛星サンプルリターン計画など、
やしんてき けいかく けんとう おこな
野心的な計画の検討を行っています。
こうだい うちゅう なぞ せま
この広大な宇宙の謎にどこまで迫ることができるのか、研究
しゃ がくせい ちよくせつはなし
者や学生と直接話をみてください。

◆もっと詳しく知りたい人のために

<http://www.isas.jaxa.jp/>

宇宙科学研究所